

PROFILE

名古屋芸術大学ウインドシンフォニー

第3回 定期演奏会

2023.12.14 thu



Nagoya University of the arts
wind symphony

オーケストラ： 名古屋芸術大学 ウインドシンフォニー

若手演奏家育成と、学生が高いレベルでのアンサンブルを学べる場を提供する事を目的に2021年に結成されたハイブリッド型の吹奏楽団。名古屋芸術大学の教員や名古屋で活躍するトッププロ、名古屋芸術大学の卒業生を中心に20~30代の若手演奏家、オーディションや教員による推薦によって選ばれた名古屋芸術大学芸術学部音楽領域弦管打コース、ウインドアカデミーコースに所属する学生、大学院生によって構成されている。演奏会やリハーサルなどを通して、名古屋芸術大学の講師やプロプレーヤーが学生や若手演奏家に対して直接演奏指導することで、演奏だけでなく教育的役割も担っている。2022年1月には愛知県芸術劇場において作曲家鈴木英史氏の指揮により第1回定期演奏会「師弟の系譜」を開催し好評を得た。定期公演のほか、地域での演奏活動やクリニック等幅広く活動し、レパートリーはクラシックからポップスまで多岐にわたる。

指揮：遠藤 宏幸

岐阜市出身。東京コンセルヴァトアール尚美を首席で卒業、同校卒業演奏会に出演。同校ディプロマコースを修了。サクソフォンを石渡悠史、岩本伸一、雲井雅人の各氏に師事、室内楽を、服部吉之、服部真理子の両氏に師事、指揮法を橋本久喜氏に師事する。2001年岐阜メルサホール、2003年、2004年、2013年名古屋ザ・コンサートホールに於いてソロリサイタルを開催、いずれも好評を得る。また所属するアリオンサクソフォンカルテットとして2014年にはファーストアルバム「Arion's Harp(アリオンの琴歌)」をリリースしCD発売記念ツアーを開催。2016年にはデビュー10周年記念ツアーで全国10都市11公演を開催した。サクソフォン奏者としての活動のほか、吹奏楽指導者としてもルロウプラスオルケスター、岐阜県立岐阜商業高校、朝日大学など多くのバンドを指導している。指揮者としても2022年にNHK交響楽団のメンバーによる演奏会の指揮者として出演。2019年名古屋芸術大学にウインドアカデミーコース設立を主導するなど後進の指導にも力を注いでいる。大垣女子短期大学を経て現在、名古屋芸術大学准教授・芸術学科長、名古屋芸術大学ウインドオーケストラ指揮者、アリオンサクソフォンカルテット、トリオ・ウィステリア、ウインドアンサンブルGAJA各メンバー、Unità“Della”Sax代表。



マリンバ：稲垣 佑馬

三重県出身。愛知県立明和高等学校音楽科を経て、東京音楽大学音楽学部器楽専攻を卒業。その後アメリカへ渡りさらに研鑽を積む。これまでに石田まり子、岡田真理子、藤本隆文、小森邦彦、Robert van Sice、Jeff Stern の各氏に師事。大学在学中より新作初演に積極的に取り組み室内楽曲を中心に数多くの作品を初演。近年は作曲家への委嘱も行っておりクラシックにおけるマリンバ、打楽器の新たな可能性の模索を続けている。2021年にはマリンバとエレクトロニクスのコラボレーションをテーマに、ループやディレイ等エフェクトを用いた新作初演を含むリサイタルを開催し好評を博す。2022年にはAlejandro Viñao氏の来日作品個展コンサートに出演。繊細なテクニックから紡ぎ出される多彩な音色には定評がある。ソロマリンバ奏者としての活動のほか、打楽器奏者として室内楽への参加、オーケストラや吹奏楽団体への客演など幅広く活動。名古屋芸術大学非常勤講師。

